

口演，論文，著書など

外国語学部



## 今泉喜一

## その他(教育内容・方法の工夫)

1. (教材公開) ホームページにおいて「日本語構造伝達文法」教材(パワーポイント形式)の公開開始<<http://www012.upp.so-net.ne.jp/nikodebu/>> (「ニコデブ」で検索可能), 2010年10月

## 岩崎公生

## その他(学会等および社会における活動)

1. (主催) 杏林大学外国語学部主催シンポジウム「八王子まちづくりフォーラム」八王子学園都市大学いちょう塾共催(於八王子学園都市センター), 2010年11月12日

## 江戸淳子

## 口演

1. “The Question of ‘Indigeneity’ with Roots and Routes—Claims for Indigenous Rights in Comparison between Kanak and Maori,” *European Society for Oceanists (at University of St. Andrews)*, July, 2010.

## 論文

1. 「ニューカレドニアとカナク - 多民族社会のエスニシティとアイデンティティ」『オセアニア』: 第15巻『朝倉世界地理講座—大地と人間の物語』朝倉書店, 365-376頁, 2010年4月

## 著書

1. 「11章 ミニ国家の誕生—ネーション建設の苦しみ」 「26章 本当に天国に一番近い島?—脱植民地化闘争とカナク・アイデンティティ」『南太平洋を知るための58章』吉岡 政, 石森大知編著, 明石書店, 64—67, 157—160頁, 2010年9月

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (discussant) “James Clifford Seminar: Reflections on the Changing Museum,” *International House of Japan, (at International House of Japan, Tokyo)* 2 July, 2010.

## 木崎英司

## 口演

1. 「LCCと客室サービスにおける選考性について」立教大学アジア人材開発プロジェクト(於立教大学池袋キャンパス), 2010年4月24日
2. 「ホスピタリティマネジメント」日本スポーツクラブ協会マネージャー養成講座(於国立オリンピック記念青少年総合センター), 2010年7月17日

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (コメンテーター) 発表者: 太平洋アジア観光協会 石博信孝, 「地方空港・新規航空会社の新路線に係る経済支援—欧州委員会での事例研究」日本国際観光学会(於千歳市民文化センター), 2010年6月12日

## 金田一秀穂

## 口演

1. 「コミュニケーション力を育てる国語教育」主催: 育研究協議会(於: 北巨摩教育会館) 2010年8月11日

## 著書

1. (監修) 『新レインボー小学国語辞典 ワイド版』改訂第4版, 学研教育出版, 2011年1月

## 草場裕

## 口演

1. 「俳句と古典文学—歌垣・歌謡・和歌・連歌」しるながす句会(於調布市民会館), 2010年10月24日
2. 「日吉神社の神々」山梨県北杜市清里檜山地区総会, (於北杜市清里日吉神社社務所), 2011年2月3日

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (取材・調査) 「つつがゆ神事」日吉神社(於山梨県北杜市清里檜山地区), 2011年2月5日
2. (作詩・朗読) 「ランゲトートを見よ」Auckland Arts Festival 2011, Ko Nakajima 展 Opening Ceremony, 国際交流基金協賛, (於 St Paul St Gallery, University of Auckland) 2011年3月5日
3. (作詩・朗読) 「石」, 「土」Auckland Arts Festival 2011, Ko Nakajima 展 Work Shop, 国際交流基金協賛, (於 St Paul St Gallery, University of Auckland) 2011年3月6日

## 楠家重敏

## 口演

1. 「サムライの見たヨーロッパ」, 八王子学園都市大学いちょう塾, 4回講義, 2010年5月
2. 「イギリス公使館の日本語学習・日本研究」, 杏林大学外国語学部公開研究会第41回アカデミア(於八王子キャンパス), 2010年11月24日

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (書評) 「小池聖一『近代日本文書研究序説』(現代史料出版, 2008年)」, 『東アジア近代史』第13号, 東アジア近代史学会, 186—188頁, 2010年4月

## 黒田有子

## 論文

1. 「メルヴィルの『信用詐欺師』(2)」, 『杏林大学研究報告—教養部門』第28巻, 157-166頁, 2011年2月

## 小山三郎

## 口演

1. 「台湾映画の鑑賞と講演会」, 八王子学園都市大学いちょう塾, 2010年11月

## 論文

1. 「魯迅の書簡」, 『杏林大学外国語学部紀要』第

### 坂本ロビン

#### 口 演

1. "Using The World Challenge to Broaden Students' World View of Social Entrepreneurship," Asia Pacific Network for Moral Education (at Faculty of Education, Nagasaki University), 13 June, 2010.
2. "Cross-border Partnerships in Higher Education," The 6th QS Asia-Pacific Professional Leaders in Education (APPLE) Conference (at Singapore International Convention and Exhibition Centre), November, 2010.
3. "Teaching 'Global Citizenship' Making it Happen," The 6th QS Asia-Pacific Professional Leaders in Education (APPLE) Conference (at Singapore International Convention and Exhibition Centre), November, 2010.

#### 論 文

1. "Collaboration for Instructional Technology Systems in Agriculture," Cross-border Partnerships in Higher Education: Strategies and Issues, Routledge, pp. 191-206, June, 2010.
2. "The Changing Face of Cross-border Higher Education," Europa World of Learning, 61st ed., vol. 1, Routledge, pp. 9-13, September, 2010.

#### 著 書

1. Cross-border Partnerships in Higher Education: Strategies and Issues, Routledge, June, 2010.

#### その他（教育方法・教育実践に関する発表・講演等）

1. 「CALL 教室を活用した授業法について」, 杏林大学外国語学部公開研究会第42回アカデミア（於八王子キャンパス）, 2010年12月15日

#### その他（学会等および社会における主な活動）

1. （書評）"Review of 'Higher Education, Policy, and the Global Competition Phenomenon' by L.M. Portnoi, V.D. Rust, & S.S. Bagley," Excellence in Higher Education Journal, Issue 2, June 2010.
2. （審査）5th English Oratorical Contest for the University of Tokyo ESS Trophy, 27 December, 2010.

### 杉田由紀子

#### 論 文

1. 「航空産業と観光ビジネス」, 『観光ビジネス論』, 谷口知司編著, ミネルヴァ書房, 61-76頁, 2010年5月

#### 著 書

1. 『観光と航空—観光交通としての航空産業—』, くんぷる, 全221頁, 2011年1月

### 諏訪内敬司

#### 口 演

1. 「国家の役割」, 研究センターゼミ（於財団法人モラロジー研究所）, 2010年9月7日

#### 著 書

1. 「ソクラテスの説くいのちと愛」, 『いのちと愛の思想』竹内啓二編著, 65-84頁, モラロジー研究所, 2010年12月

### 詹満江

#### 口 演

1. 「未公開資料『陶情詩集』全訳注の試み—新井白石青春の軌跡を辿る—」, 杏林大学外国語学部公開研究会第39回アカデミア（於八王子キャンパス）, 2010年5月19日

#### 論 文

1. （翻訳）「菅茶山詩読解報告（三）」黄葉会（石川忠久監修, 市川桃子他共訳『黄葉夕陽村舎詩』前編巻七「磨針嶺」詩・「美濃」詩・「又」詩三首の訳注の辞書調査担当）『中国文史論叢』第7号, 岡山大学文学部中国文史研究会, 2011年3月
2. 「新井白石青年期の読書と詠詩」, 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 1-13頁, 2011年3月

#### その他（教育方法・教育実践に関する発表・講演等）

1. 「杏林大学外国語学部におけるメディア・ICT活用の試み」, （共著：熊谷文枝・高木眞佐子・八木橋宏勇）『JeLA 会誌』Vol. 10, 39-46頁, 2010年5月

### 玉村禎郎

#### 口 演

1. 「奈良時代への旅—平城遷都1300年紀—」, 八王子市学園都市大学いちよう塾, 5回担当, 2010年4月-7月
2. 「旅と文化—京ことば—」, 京都府市民大学講座, 京都市主催（於ラポール学園）2010年4月19日
3. 「ことわざいろいろはガルト—上方・江戸—(1)~(3)」, 京都府市民大学講座, 京都市主催（於ラポール学園）2010年4月-7月
4. 「誤用例研究」, 京都国際文化協会主催 京都市共催, 国際交流基金・京都府後援, （於京大会館）, 2009年9月14日
5. 「日本の言語文化」, 八王子市学園都市大学いちよう塾, 5回担当, 2010年10月-2011年3月
6. 「日本語の姿—時間と空間からのアプローチ—」, 八王子市学園都市大学いちよう塾, 2回担当, 2010年11月-2011年2月

#### 論 文

1. 「現代日本語における並列構造の語句の研究」, 『日本文学研究』第20号, 14-22頁, 学苑出版社, 2010年9月
2. 「漢語『有無』—近代語への歩み—」, 近代語学会『近代語研究』15, 37-49頁, 武蔵野書院, 2010年10月

- 「シリーズ日本語教育最前線 1～6」大連外国語学院・中国語教学研究会・大連理工大学出版会『日語知識』, 317～319号及び322～324号, 317・318・322の各号は4-5頁, 319号は4-10頁, 323号は3-19頁, 324号は3頁, 2010年8月, 9月, 10月, 2011年1月, 2月, 3月
- 「言語と記憶—語の属性と記憶のメカニズム—」Language and Memory: A Close Relationship between the Characteristics of Words and Memory Mechanisms, 『杏林大学研究報告』28巻, 97—106頁, 2011年2月
- 「現代日本語における外来語の浸透—外来語系形容動詞(ナ形容詞)と接尾辞「-さ」の結合—」, 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 47—55頁, 2011年3月

## 著 作

- (協力)『柳田國男 語感とことばの世界—「民俗学」百年前の産声—解説・目録』—頁, 成城大学民俗学研究所特別展『民研報告』第23号, 2010年11月

## その他(学会等および社会における主な活動)

- 「八王子市域23大学等留学生日本語弁論大会」審査委員, 主催: 大学コンソーシアム八王子, 主管: 八王子市学園都市推進会議, 後援: 八王子市・八王子市教育委員会, (於八王子市学園都市センター), 2010年12月7日

## 塚本慶一

## 口 演

- 「日本語 - 中国語間の同時通訳について」, 天津外国語大学主催, (於天津), 2010年6月21日
- 「通訳者への道」, 中国元培通訳翻訳センター主催, (於上海), 2010年9月22日
- 「日本の大学院における通訳養成プログラムの現状と今後」, 北京第二外国語大学主催, (於北京), 2010年10月18日
- 「通訳者養成メソッドの教場への応用」, 北京外国語大学主催, 2010年11月13日
- 「日中逐次・同時通訳に係るトレーニング」, 北京外国語大学主催, 2010年11月14日

## その他(学会等及び社会における主な活動)

- (審査)2010年全中国通訳コンクール(日, 中, 法 三カ国間)同時通訳部門(於北京), 2010年10月16日
- (記事)「インタビュー—取材—杏林大学が画期的な中国語学科を新設」, 日中友好協会発行新聞『日本と中国』2010年11月25日

## その他(教育活動上特記すべき事項)

- 大連外国語大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年6月11日
- 天津外国語大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年6月20日
- 北京第二外国語大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年6月22日

- 上海外国語大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年6月25日
- 広東外語外貿大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年9月7日
- 理事長に同行して, 上海外国語大学, 東華大学を訪問, 学術交流に関する意見交換, 2010年9月21日
- 理事長に同行して, 広東外語外貿大学を訪問, 両校の学術協定を調印する, 2010年11月22日

## 塚本尋

## その他(作成した教科書, 教材, 参考書)

- 『中国語通訳講座(基礎編)』(共著: 張弘), 三修社, 2011年1月

## 出嶋靖志

## 論 文

- 「中国北部ゴビ砂漠周辺におけるCOPD患者の肺機能と黄砂発生との関係—黄砂多発地域における受診記録の分析より—」, (共著: 蘇雅拉)『民族衛生』Vol. 76, No. 2, 86—94頁, 2010年5月

## 著 書

- 「環境と健康」「消毒法」, 『衛生学・公衆衛生学』東洋療法学校協会編, 第2版第6刷, 71-128, 201-216頁, 医歯薬出版, 2010年
- 『ダブルベース HIYAMA ノート—シマンドル習得のために—』松山 薫著, 檜山ノート出版委員会編, ドレミ出版, 2010年7月

## その他(教育活動上特記すべき事項)

- (記事)「杏林大学大学院」, 『国際協力ガイド2010』140—141頁, 国際開発ジャーナル社, 2010年10月

## 遠山菊夫

## 論 文

- 「ESPとしての新しい『ビジネスイングリッシュ』の授業の構築とその語用論的背景」, (共著: 倉林秀男), 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 57—78頁, 2011年3月

## 鳥尾克二

## 口 演

- 「観光価値評価に関する考察(Land Value Indexの提唱)」, 日本国際観光学会第13回全国大会(於東洋大学), 2010年10月23日

## 長谷川弘子

## 論 文

- 「世界各国におけるエーリヒ・ケストナーの翻訳と受容について—オサリバンの10のテーゼをめぐって(3)」, 『杏林大学研究報告—教養部門』第28巻, 167—176頁, 2011年2月

## 本田弘之

### 口 演

1. 「中国朝鮮族の日本語教育の研究 ―その「再開」と自律の過程を追って―」, 2010年日本語教育世界大会, (於国立政治大学, 台北:台湾), 2010年7月31日

### 論 文

1. 「中国朝鮮族の日本語教育「再開」期の様相 ―日本語教育史の「断絶史観」を再考する」, 『世界をつなぐことば』遠藤織枝・小林美恵子・桜井隆編著, 三元社, 487-506頁, 2010年6月
2. 「中国朝鮮族の日本語教育の研究 ―その「再開」と自律の過程を追って―」, 『2010年日本語教育世界大会論文集』(CD版) No.1704, 大新書局(台北), 2010年7月

### その他(教育活動)

1. (講師・コーディネーター)「日本語ボランティア・入門講座」全6回, 八王子国際協会主催・八王子大学コンソーシアム共催(於八王子クリエートホール等), 2010年6月-7月
2. (講師・コーディネーター)「日本語ボランティア・ステップアップ講座」全10回, 八王子国際協会主催 文化庁平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業, (於八王子クリエートホール), 2010年9月-12月

### その他(作成した教科書、教材、参考書)

1. (記事)12分野徹底演習&解説「区分1 言語・文化・社会」, 『日本語教育能力試験 合格するための本 2011年度版』アルク, 72-82頁, 2010年5月
2. (記事)「文法やり直しゼミナール」, 『月刊日本語10月号』アルク, 15-21頁, 2010年9月

## 柳田義男

### その他(学会等および社会における主な活動)

1. (資格審査)「職業能力資格認定試験(ホテル業)」検定試験官, (於:札幌グランドホテル)2010年8月26日

## 熊谷文枝

### 口 演

1. “A Century of Changes, Continuities, and Regional Variations of Japanese Families,” paper presented at the 2010 IEAS Workshop on Family Change held at Academia Sinica, Taipei, Taiwan, October 10-12.

### 論 文

1. “Forty Years of Family Change in Japan: A Society Experiencing Population Aging and Declining Fertility,” the 40th Anniversary Special Issue: *Traversing Forty Years of Family Change: An Overview of the Special Edition, Journal of Comparative Family Studies*, pp. 581-610, 2010.
2. “International Marriage in Japan,” *Kyorin*

*University Review* 23, pp. 1-24, March, 2011.

### その他(教育方法・教育実践に関する発表、講演等)

1. (報告)「杏林大学外国語学部におけるメディア・ICT活用の試み」(共著:倉林秀男・高木真佐子・八木橋宏勇)『JeLA会誌』Vol. 10, 39-46頁, 2010年5月

### その他(学会等および社会における主な活動)

1. (Proceedings) “A Century of Changes, Continuities, and Regional Variations of Japanese Families,” paper presented at the 2010 IEAS Workshop on Family Change held at Academia Sinica, Taipei, Taiwan, October 10-12.

## 谷口賢一郎

### その他(教育方法・教育実践に関する発表、講演等)

1. 「インターネット・ニュースで生きた英語を」(フォーラム掲載), 『英語教育』2010年5月号, 91-92頁, 大修館書店

## Peter MacMillan ピーター・A・マックミラン

### 口 演

1. “The Challenges and Pleasures of Translating Japanese Classical Poetry”. 日英・英日翻訳国際会議(IJET-21). (於宮崎観光ホテル)2010年4月
2. 2010.06(講演)「私の見た日本文化」, 六本木ロータリー定例会講話. (於グランドハイアット東京)2010年6月
3. 「英訳の楽しさと難しさ-日本古典文学の場合-」, 成城大学文芸学部英文学科公開講演会, (於成城大学)2010年6月何日.

### その他(学会および社会における主な活動)

1. 「講座・演題」首都大学東京夏期集中講義, (於首都大学東京), 2010年9月
2. 「講座・演題」首都大学東京特別講義, (於首都大学東京), 2010年10月-12月.

## 岩本和良

### 口 演

1. 「杏林大学の英語教育効果測定: TOEIC®テストの効果的活用の試み」(共同発表:倉林秀男・高木真佐子), 第49回JACET全国大会(於宮城大学), 2010年9月8日

## 倉林秀男

### 口 演

1. 「広告表現から考察する日本語的思考と英語的思考」, 第28回ビジネス英語文化研究分科会例会(於関西外国語大学中宮学舎), 2010年8月28日
2. 「杏林大学の英語教育効果測定: TOEIC®テストの効果的活用の試み」(共同発表:岩本和良・高木真佐子), 第49回JACET全国大会(於宮城大学), 2010年9月8日
3. 「ヘミングウェイ作品における『意識の流れ』と『内的独白』の文体」, 日本ヘミングウェイ協会

第21回大会(於関東学院大学関内メディアセンター), 2010年12月11日

## 論文

1. 「ESPとしての新しい『ビジネスイングリッシュ』の授業の構築とその語用論的背景」(共著: 遠山菊夫), 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 57-78頁, 2011年3月

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (司会)「コーパスと文学的想像力で読む“Hills Like White Elephants”」発表者: 関西大学院疋田知美, 日本ヘミングウェイ協会第21回大会(於関東学院大学関内メディアセンター), 2010年12月11日

## 高木眞佐子

## 口演

1. 「中世写本からルネサンス印刷本へーイギリス版古事記『ブリュ』を分かりやすく考察」八王子学園都市大学いちょう塾, 4回講義(於八王子学園都市センター) 2010年5月
2. 「英国ロイヤルバレエ団『リーズの結婚』公開ゲネプロ」東京文化発信プロジェクト 青少年のための芸術体験プログラム(於東京文化会館) 2010年6月18日
3. 「オーストラリア・バレエ団『白鳥の湖』公開ゲネプロ」東京文化発信プロジェクト 青少年のための芸術体験プログラム(於東京文化会館) 2010年10月8日
4. (パネリスト・司会)「英国年代記と国家意識—15, 16世紀を中心に—」張替涼子「ジョン・ベレンデンによる『スコットランド年代記』と16世紀の国家意識」, 高木眞佐子「散文『ブルート』とマロリーの『アーサー王の死』(1485)—党派抗争とアーサー王の正統な継承者—」, 井出新「ロンドン市民社会における国家意識の誕生—リチャード・ロビンソン『アーサー王事績肯定論』(1582)を中心に—」, 高宮利行「MaloryからDeeへ—Hardyngの年代記の影響—」日本中世英語英文学会第26回全国大会(於大阪学院大学) 2010年12月5日
5. 「ベルリン国立バレエ団『シンデレラ』公開ゲネプロ」東京文化発信プロジェクト 青少年のための芸術体験プログラム(於東京文化会館) 2011年1月14日

## 論文

1. “Research Note-2/4: Study on the Prose *Brut MSS* in relation to William Caxton’s *Chronicles of England* (1480),” *Kyorin University Review* 23, pp. 79-96, March, 2011.

## その他(教育方法・教育実践に関する発表・講演等)

1. (報告)「杏林大学外国語学部におけるメディア・ICT活用の試み」(共著: 熊谷文枝・詹満江・高木眞佐子)『JeLA会誌』Vol. 10, 39-46頁, 2010年5月

2. (取材)「習熟度別クラス編成, 目標スコア設定—就職活動を見据えてTOEIC Bridge<sup>®</sup>, TOEIC<sup>®</sup>テストを活用: 杏林大学外国語学部」協力: 赤井孝雄 *TOEIC Bridge<sup>®</sup> Newsletter* 17, pp. 5-7, 2010年7月
3. (発表)「杏林大学の英語教育効果測定: TOEIC<sup>®</sup>テストの効果的活用の試み」(共同発表: 岩本和良, 倉林秀男), 第49回JACET全国大会(於宮城大学), 2010年9月8日

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (司会)「明治・大正期の英文学史概説書に見るSir Thomas Maloryの*Le Morte Darthur*」, 発表者: 埼玉医科大学病院 山田攻, 日本中世英語英文学会 東支部第26回研究発表会(於立教大学), 2010年6月19日

## 野口洋平

## 著書

1. 「第3章 観光マーケットと購買行動 個人マーケットと団体マーケット」, 「第6章 観光商品のマネジメント 多様化するニーズへの対応」, 「第10章 インターネットのマーケティング より自由な旅行, よりオープンなシステムへ」, 高橋一夫編著『観光マーケティング・マネジメント』ジェイティービー能力開発, 3章 38-53頁, 6章 85-98頁, 10章 144-159頁, 2011年2月

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. 「海外旅行の阻害要因の知覚に関する属性間比較—若者の海外旅行離れ「論」への試み—」発表者: 中村哲, 西村幸子, 高井典子, 他4本, 日本観光研究学会第25回全国大会(於文教大学) 2010年12月4日

## 古本泰之

## 口演

1. 「観光概論」東京都観光財団『地域人材育成事業』第1回中央研修, 2010年9月8日

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (記事)「博物館・美術館」, 安村克己, 堀野正人, 遠藤英樹, 寺岡伸悟編著『よくわかる観光社会学』, ミネルヴァ書房, 128-129頁, 2011年3月
2. (発表指定討論者) 日本国際観光学会第12回全国大会(於札幌国際大学), 2010年6月13日
3. (司会)「観光ボランティアガイド活動の実態およびその動向に関する研究」発表者: 富山国際大学 斎藤敏子, 他2本, 日本観光研究学会第25回全国大会(於文教大学) 2010年12月4日
4. (書評)「山口一美・椎野信雄編著 はじめての国際観光学(創成社)」, 『観光ホスピタリティ教育』第5号, 17-19頁, 2011年3月

## Iain Lambert イアン・ランバート

### □ 演

1. “Japanese Learners and Non-standard Forms in Literature,” 杏林大学外国語学部公開研究会第40回アカデミア（於八王子キャンパス），2010年6月16日
1. “Cats, Punters & a toom vodka gless: Japanese learners and non-standard forms in literature,” 16th IAWE Conference (at Simon Fraser University, Vancouver, Canada), 25 July, 2010.
1. “Cats, Punters & a toom vodka gless: Japanese learners and non-standard forms in literature,” 13th Region and Nation Literature Association Conference (at Shiga, Japan), September, 2010.

### その他（教育方法・教育実践に関する発表、講演等）

1. 「Introduction to Practical English Teaching」, University of Chichester 2010 講座, 日本工業大学専門職大学院, 5月16日
2. 「Perspectives on Grammar and Communication」第1回, University of Chichester 2010 講座, 日本工業大学専門職大学院, 7月18日
3. 「Perspectives on Grammar and Communication」第2回, University of Chichester 2010 講座, 日本工業大学専門職大学院, 9月26日
4. 「Methods of Testing and Assessment」第1回, University of Chichester 2010 講座, 日本工業大学専門職大学院, 11月27日
5. 「Methods of Testing and Assessment」第2回, University of Chichester 2010 講座, 日本工業大学専門職大学院, 1月23日

## 荒川みどり

### □ 演

1. 「文型と機能を教える」, 八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座, 第5, 第6回（於八王子市生涯学習センター）, 2010年10月23日, 30日

### 論文

1. 「日本語教育における例文」, 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 97—112頁, 2011年3月

## 嵐洋子

### □ 演

1. 「コミュニケーションのための「聞く」WEB教材の開発」（共同発表）, ICJLE 台湾 2010, 7月31日
2. 「持続時間及びピッチ変動が長音の知覚に与える影響—中国語北方方言母語話者を対象とした一考察—」, 近畿音声言語月例研究会（於西宮市大学交流センター）, 2010年12月4日

### 論文

1. 「熊本方言の談話音声に現れた音調句の分類—若年層話者による音声資料をもとにした中間的考察—」（共著）, 『音声研究』第14巻第3号, 51

—62頁, 2010年12月

### その他（作成した教科書、教材、参考書）

1. 聴解「解説と対策」, 『日本語能力試験 模試と対策 N1』（共著）新 JLPT 研究会, アスク出版 2010年4月
2. 聴解「解説と対策」, 『日本語能力試験 模試と対策 N2』（共著）新 JLPT 研究会, アスク出版, 2010年5月
3. 聴解「解説と対策」, 『日本語能力試験 模試と対策 N3』（共著）新 JLPT 研究会, アスク出版, 2010年6月

### その他（学会等および社会における主な活動）

1. （副座長）「日本語の統語構造とタイミング制御についての考察」, 発表者：流通科学大学 東淳一他一本, 第24回日本音声学会全国大会（於國學院大學）, 2010年10月10日
2. （講師）「音声学の基礎知識」, 八王子日本語ボランティア入門講座 第4回, 八王子国際交流主催（於八王子学園都市センター）, 2010年6月
3. （講師）「日本語の音声について」, 八王子日本語ボランティア入門講座 第6回, 八王子国際交流主催（於八王子学園都市センター）, 2010年7月
4. （講師）「発音・聴解指導の実際1」日本語ボランティアステップアップ講座 第7回, 八王子国際協会主催, （於八王子クリエートホール）2010年11月27日
5. （講師）「発音・聴解指導の実際2」日本語ボランティアステップアップ講座 第9回 八王子国際協会主催, （於八王子クリエートホール）2010年12月11日

## 井手拓郎

### □ 演

1. 「スノートレッキング導入に向けたワークショップ：秋の宮温泉郷ホワイトツーリズム基盤整備事業」, 秋の宮温泉郷イメージアップ推進協議会, （於湯沢市秋ノ宮）, 2010年12月17日

## 千野万里子

### 論文

1. 「現代中国語に見られる近世中国語の影響（2）—『紅樓夢』を資料とした調査項目の抽出—」, 『杏林大学外国語学部紀要』第23号, 113—136頁, 2011年3月

### その他（学会等および社会における主な活動）

1. （記事）「中国文学作品を読む 朱自清散文を読む（1）」, 『中国語の環』84号, 『中国語の環』編集室編, 一般財団法人日本中国語検定協会発行, 4—5頁, 2010年4月
2. （記事）「中国文学作品を読む 朱自清散文を読む（2）」, 『中国語の環』85号, 『中国語の環』編集室編, 一般財団法人日本中国語検定協会発行, 4—5頁, 2010年9月

3. (記事)「中国文学作品を読む 朱自清散文を読む(3)」,『中国語の環』86号,『中国語の環』編集室編,一般財団法人日本中国語検定協会発行,4—5頁,2011年1月

## 鄭英淑

## 論文

1. 「‘共同体’という語の成立」,『杏林大学外国語学部紀要』第23号,157—170頁,2011年3月

## 張弘(宮首弘子)

## 口演

1. 「語学教育における通訳トレーニング・メソッド」,杏林大学・(財)交流協会共催『台湾日本語教員研修プログラム』,2010年7月20日

## 論文

1. 「中国語新語に見る「異化」翻訳方略の有用性」,『杏林大学外国語学部紀要』第23号,133—151頁,2011年3月

## その他(作成した教科書、教材、参考書)

1. 『実用やりとり中国語初級』,NHK出版,2010年7月
2. 『中国語通訳講座 基礎編』(共著),三修社,2011年1月

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (翻訳・通訳)『日中作家生態文学シンポジウム・イン・秋田』,日本ペンクラブ,2010年5月
2. (翻訳・通訳)『日中作家生態文学シンポジウム・イン・市川』,日本ペンクラブ,2010年5月
3. (通訳)『中国教職員招聘プログラム』,財)ユネスコ・アジア文化センター,2010年10月
4. (連載)「覚えて役立つ『もう一声』」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2010年9月号
5. (連載)「過去でも「了」はいらない」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2010年10月号
6. (連載)「『了』はどこに置く?」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2010年11月号
7. (連載)「形容詞文の落とし穴」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2010年12月号
8. (連載)「“能”,“会”,“可以”の使い分け」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2011年1月号
9. (連載)「“是～的”を使いこなそう」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2011年2月号
10. (連載)「“的”を極めよう」,『まいにち中国語』,NHK ラジオテキスト2011年3月号

## 八木橋宏勇

## 口演

1. 「社会言語学—メディアとコミュニケーション」,立教大学異文化コミュニケーション学部『社会言語学1』第9回(於立教大学池袋キャンパス),2010年6月17日

2. 「方言と医療コミュニケーション」,弘前大学医学部『臨床医学入門』第14回,(於弘前大学文京キャンパス),2010年7月21日
3. 「方言知識の必要性」,八王子学園都市大学いちよう塾『日本語の姿—時間と空間からのアプローチ』コーディネータ:玉村禎郎,2011年2月10日
4. 「方言と地域医療の崩壊—地方で医師が不足する4つ目の要因を探る—」,『滋賀大学経済学部ワークショップ』(於滋賀大学彦根キャンパス),2011年2月21日
5. 「内外の社会言語学」,八王子学園都市大学いちよう塾『日本語の姿—時間と空間からのアプローチ』コーディネータ:玉村禎郎,2011年2月24日
6. (基調講演[英語])「オーラル中心授業の成果と問題点—杏林大学外国語学部"Practical English Program (PEP)"の事例」,信州大学全学教育機構言語教育センター主催『言語教育センターフォーラム』(於信州大学旭キャンパス),2011年3月17日

## 論文

1. 「日本語の結果含意動詞と「XでもXでもYない」構文」,『杏林大学研究報告教養部門』第28巻,127—134頁,2011年2月
1. 「「XでもXでもYない」構文の意味分析—アスペクト転換機能と日本語の過程志向—」,『杏林大学外国語学部紀要』第23号,171—182頁,2011年3月

## 著書

1. 『聖書と比喩—メタファで旧約聖書の世界を知る—』(共著:橋本功),慶應義塾大学学術出版基金プロジェクト,慶應義塾大学出版会,2011年1月

## その他(教育方法・教育実践に関する発表、講演等)

1. (報告)「杏林大学外国語学部におけるメディア・ICT活用の試み」(共著:熊谷文枝・詹満江・高木眞佐子),『JeLA会誌』Vol. 10,39—46頁,2010年5月

## その他(学会等および社会における主な活動)

1. (翻訳)「フィデルの考察—今,なすべきこと—」(Fidel Alejandro Castro Ruz, 'The Time Has Come To Do Something,') ,板垣真理子『キューバへ行きたい』,新潮社,128—133頁,2011年3月
2. (記事)「日本認知言語学会 The Japanese Cognitive Linguistics Association (JCLA)」,『日本語学』(言語研究・日本語研究学会ガイド)臨時増刊号 Vol. 29-7,98—100頁,2010年6月
3. (記事)「社会言語科学会 The Japanese Association of Sociolinguistic Sciences (JASS)」,『日本語学』(言語研究・日本語研究学会ガイド)臨時増刊号 Vol. 29-7,101—104頁,2010年6月
4. (記事)「方言と医療コミュニケーション—医学

生, 津軽弁を学ぼう」, 東奥日報 2010 年 7 月 22 日朝刊

5. (記事)「ことばと私(6)」, 地球ことば村—世界言語博物館メールマガジン, 2010 年 10 月 24 日号
6. (執筆協力)「聖書のメタファと翻訳」(橋本功関西外国語大学教授), 『英語研究の次世代に向けて—秋元実治教授定年退職記念論文集』, ひつじ書房, 145—155 頁, 2010 年 5 月
7. (制作協力)「医学部におけるコミュニケーション指導」, NHK 青森放送局制作報道番組, 2010 年 11 月 30 日
8. (企画運営・解説)「ミャンマーの言葉と暮らし『血の絆』(千野皓司監督未公開映画)上映会」, 地球ことば村—世界言語博物館映画の会(於松竹株式会社本社試写室), 2011 年 2 月 6 日
9. (企画運営) 益子幸江「脳とことば『「音」からことばを探る』」, 2010 年 10 月 30 日, タンタイ「故国を逃れて日本で暮らすということ」, 2010 年 12 月 4 日, 河内一博「エチオピアの言語・シダーマ語について」, 2011 年 1 月 22 日, 地球ことば村—世界言語博物館ことばサロン, 於慶應義塾大学三田キャンパス
10. (企画運営)「認知言語学セミナー」, 「日本認知言語学会第 11 回全国大会」, 日本認知言語学会(於立教大学池袋キャンパス), 2010 年 9 月 10—12 日

### 北村一真

#### 論文

1. “A Semantico-Pragmatic Analysis of the Monoda-Construction,” *Kyorin University Review* 23, pp. 183-199, March, 2011.
2. 「ミル『女性の解放』の誤訳を考察する—英文読解の観点から—」『杏林大学研究報告—教養部門』第 28 巻, 145—156 頁, 2011 年 2 月

### 小林輝美

#### その他(学会等および社会における主な活動)

1. 英語コミュニケーションサークル「SMILE」主宰(於八王子市立高倉小学校) 2010 年 4 月—2011 年 3 月